

【法人の概要】

代表者名	中澤 正徳		所管部(局)課	県土整備部道路整備課		
所在地	甲府市丸の内二丁目14-13		電話番号	055-226-3835		
ホームページURL	<a href="http://www.nns.ne.jp/ass/tollgate/">http://www.nns.ne.jp/ass/tollgate/</a>		E-mailアドレス	tollgate@nns.ne.jp		
資本金(基本財産)	1,225,000	千円	設立年月日	平成5年6月1日		
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額		出資比率
	1	山梨県		612,500	千円	50.0 %
	2	埼玉県		612,500	千円	50.0 %
	3				千円	0.0 %
	4				千円	0.0 %
	5				千円	0.0 %
	6				千円	0.0 %
	7				千円	0.0 %
	8				千円	0.0 %
	9				千円	0.0 %
	10				千円	0.0 %
	その他	団体(者)			千円	0.0 %
設 目 経 概 況 等	山梨県の区域及びその周辺地域において、有料道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与することを目的とする。現在、維持管理有料道路である富士山有料道路及び一般有料道路である雁坂トンネル有料道路の2路線を管理するとともに、田富高架下駐車場、城東大橋駐車場及び小井川駐車場の貸付等を行っている。					

【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H19年度	H20年度	H21年度
事業1	有料道路事業 「雁坂トンネル有料道路」及び平成17年6月7日に維持管理有料道路となった「富士山有料道路」の維持管理等	577,990	590,097	603,390
事業2	駐車場事業 田富高架下駐車場(4,800㎡)、城東大橋駐車場(3,297㎡)及び小井川駐車場(2,926㎡)の貸付	3,502	4,841	6,538
事業3	受託事業 雁坂トンネル有料道路に関連する国道140号維持管理業務、維持修繕業務(H20・21)、富士山有料道路料金所から国道139号交差点までの除雪業務等	49,222	148,676	216,672

【組織】

	年度	平成20年度					平成21年度					平成22年度				
		職 員 一 計	プロ パー 兼 務	県 職 員	県 O B	そ の 他	職 員 一 計	プロ パー 兼 務	県 職 員	県 O B	そ の 他	職 員 一 計	プロ パー 兼 務	県 職 員	県 O B	そ の 他
4月1日現在の人員																
役員	取締役(理事)(常勤)	2		1	1	0	2			2		1			1	
	取締役(理事)(非常勤)	4		4			4			4		4		4		
	監査役(監事)(常勤)	0					0			0		0				
	監査役(監事)(非常勤)	2		2			2			2		2		2		
	評議員	0					0			0		0				
	計	8	0	7	1	0	8	0	6	2	0	7	0	6	1	0
職員	管理職	2		2			2		2			2		2		
	一般職員	8		8			8		8			8		8		
	臨時職員	3				3	2			2		2				2
	非常勤職員	1			1		1			1		1			1	
	計	14	0	10	1	3	13	0	10	1	2	13	0	10	1	2
プロパー職員の年齢構成 (H23.4.1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計			平均年齢	平均年収				
	男性							0	役員			(千円)				
	女性							0	常勤			(千円)				
	合計	0	0	0	0	0	0	0	職員			(千円)				

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		19年度	20年度	21年度	増減(21-20)
収 支 状 況	受託事業収入	49,222	151,954	213,394	61,440
	自主事業収入	901,057	858,118	865,984	7,866
	補助金収入				0
	運用益収入		427	369	△ 58
	その他の経常収入	2,019	201	3,933	3,732
	経常収入 計	952,298	1,010,700	1,083,680	72,980
	人件費	94,368	87,923	82,320	△ 5,603
	その他の経常支出(費用)	776,443	867,469	1,030,390	162,921
	経常支出(費用) 計	870,811	955,392	1,112,710	157,318
	経常損益	81,487	55,308	△ 29,030	△ 84,338
	特別利益(経常外収入)			102,598	102,598
	特別損失(経常外支出)	169	153	40	△ 113
	法人税等				0
	当期損益	81,318	55,155	73,528	18,373
	前期繰越利益(損失)	86,882	168,201	223,356	55,155
	当期末処分利益(損失)	81,318	55,155	73,528	18,373
次期繰越利益(損失)	168,201	223,356	296,884	73,528	

項 目		19年度	20年度	21年度	増減(21-20)
財 務 状 況	流動資産	771,473	852,393	739,780	△ 112,613
	固定資産	4,902,228	4,906,472	4,902,766	△ 3,706
	資産 計	5,673,701	5,758,865	5,642,546	△ 116,319
	流動負債	65,213	164,290	78,046	△ 86,244
	うち短期借入金				0
	固定負債	4,134,572	4,065,503	3,961,900	△ 103,603
	うち長期借入金	2,237,234	1,997,108	1,745,768	△ 251,340
	負債 計	4,199,785	4,229,793	4,039,946	△ 189,847
	資本金	1,225,000	1,225,000	1,225,000	0
	資本剰余金	80,716	80,716	80,716	0
	利益剰余金	168,201	223,356	296,884	73,528
資本 計	1,473,917	1,529,072	1,602,600	73,528	

(単位:千円)

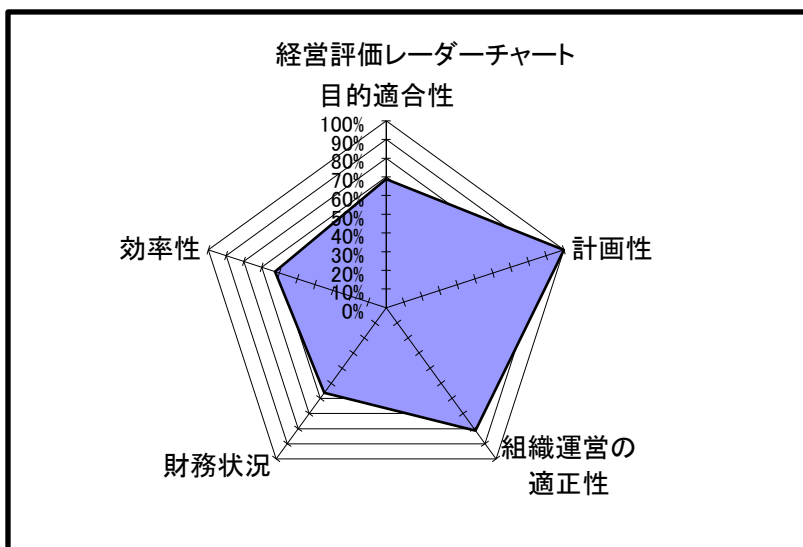
項 目		19年度	20年度	21年度	増減(21-20)
県 の 財 政 的 関 与 の 状 況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金				0
	人件費(派遣法以外)補助金				0
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金				0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金				0
	人件費(派遣法以外)委託金	2,380	2,729	3,145	416
	人件費以外の委託金	21,759	124,731	172,487	47,756
	委託金 計	24,139	127,460	175,632	48,172
県支出金 計	24,139	127,460	175,632	48,172	
県の財政的関与の割合(%)	2.5	12.6	16.2	4	
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高	2,237,234	1,997,108	1,745,768	△ 251,340	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金 (運営費)	
補助金 (事業費)	
委託金	(H19~H21)一般県道富士河口湖富士線冬期除雪業務委託 (H19~H21)国道140号維持管理業務委託 (H20~21)国道140号道路維持修繕業務委託
債務負担行為	道路公社の事業資金借入に対する債務保証を行うための債務負担行為

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	4	16	11	68.8%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	20	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	13	81.3%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	12	48	27	56.3%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	8	32	20	62.5%
合計		33	132	91	68.9%



【警戒指標】

借入金返済能力

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	設立目的に適合している。
計画性	今後も社会や経済情勢を見通す中で、収支バランスのとれた運営を行っていくこととする。
組織運営の適正性	適正に運営されている。
財務状況	雁坂トンネルについては、通行台数の減少による財務状況は厳しい。
効率性	委託業務の発注方法や管理体制の見直し等、効率的な運営をしている。
総合的評価	道路公社は、施設の維持管理が中心であり、利益追求型でないため、社会情勢の変化により通行量が減少し、経営が厳しくなるのもやむを得ない部分がある。



対応策	通行量が著しく減少し、経営が厳しい雁坂トンネル有料道路においては、県外観光客等へのPR活動を積極的に行うとともに、通行量に見合う適正な管理体制を再構築し、維持管理費の削減に努めていく。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	設立目的に適合している。
計画性	有料道路事業は、国に計画内容を示して許可をうけている。現在、社会情勢の変化により計画時との乖離が生じている。交通量の見直しを含めた経営改善計画を策定し経営を進めていきたい。
組織運営の適正性	適正に運営されている。
財務状況	雁坂トンネルについては、通行台数の減少により財務状況が厳しい。
効率性	委託業務の発注方法や管理体制の見直し等、効率的な運営をしている。
総合的評価	道路公社は施設管理が中心であり、利益誘導型の法人ではないが、適切な維持管理をしていくためには、さらなる維持管理費の削減と利用促進策を実施していく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">財務状況</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">A (75%~)</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">B (60%~75%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">C (50%~60%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">D (~50%)</div> </div> <p>・ 雁坂トンネル有料道路及び富士山有料道路の2路線の管理運営等を行っているが、雁坂トンネル有料道路の交通量が計画を大きく下回っている状況である。          ・ 平成21年度は、内部留保金の取り崩しにより黒字となったが、雁坂トンネル有料道路の収支の影響で、全体の経常収支が赤字を計上した。          ・ 高速道路割引など厳しい経営環境の中で、最終的に事業損失が発生しないために、利用者の増加による安定した料金収入の確保とコスト削減に引き続き取り組む必要がある。</p> <p>※ ランク下の%は得点率の範囲</p>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雁坂トンネル有料道路については、高速道路料金割引などの影響により収入が減少し厳しい経営状況が続いている。</li> <li>・ 料金収入確保については、今後も関係機関等との連携を図りながら、雁坂トンネルの利用促進を積極的に取り組んでいく。</li> <li>・ 監視業務、料金徴収業務の効率化や基本電力料金の見直しなど更なる経費の削減を含めた経営改善計画を策定し、最終的に事業損失が発生しないよう経営改善に努める。</li> </ul>
---